

名古屋三河道路

の早期実現に向けた

要望書

【名古屋三河道路 位置図】



名古屋三河道路に期待される機能・役割

※令和4年3月名古屋都市圏環状機能検討会資料より

- 伊勢湾岸（自動車）道とのダブルネットワーク化による高速道路ネットワークの機能向上
- 西三河知多地域の地域道路網の混雑緩和、境川渡河部の混雑緩和

名古屋三河道路（優先整備区間）に期待する機能・役割（政策目標）

※令和5年12月名古屋三河道路有識者委員会資料より

- ① 【産業】 定時性・速達性の向上による物流網の信頼性確保と交流域の拡大
- ② 【渋滞】 交通円滑化
- ③ 【安全】 交通事故の減少
- ④ 【防災】 災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築



令和6年7月

愛知県名古屋商工会議所
一般社団法人中部経済連合会

要 望 書

愛知県は、リニア中央新幹線及び新東名高速道路、新名神高速道路等の整備により形成される「世界に類を見ない1つの巨大な大都市圏」のセンターに位置することから、これまでも増して、世界中から人・モノ・カネ・情報を呼び込み、日本経済を牽引していく役割を担う必要があります。

なかでも、知多及び西三河地域は、45年連続日本一である本県の製造品出荷額等約48兆円の大半を稼ぎ出す、まさに「モノづくりあいち」を代表する地域であり、現在も新たな企業の立地が進む活力ある地域であります。

しかしながら、地域内の生産拠点と物流拠点である名古屋港、中部国際空港などを結ぶ国道23号名豊道路や国道1号、さらに境川・衣浦港周辺の幹線道路では、渋滞が頻繁に発生しており、当地域の強みであるモノづくりの生産性に大きな影響を及ぼしております。

名古屋三河道路は、本地域を貫き、高度に集積する生産拠点間及び生産拠点と物流拠点とを有機的・効率的に繋ぐことで、国際競争力を大きく強化する道路であります。

また、弥富市から岡崎市までを結ぶことで、伊勢湾岸自動車道とダブルネットワークを構築し、平時・災害時を問わない円滑で安定的な物流を確保するなど、国土強靱化に貢献するとともに、高速道路ネットワークの機能を向上する役割を担う高規格道路であります。このようなことから、本来、国の責任により整備・管理されるべき性格の道路であるとともに、早期実現のためには、有料道路制度等の活用による財源確保の取組が必要です。

このような中、現在、県において、西知多道路から名豊道路までの優先整備区間について、沿線市町と連携して「概略ルート・構造の検討」となる構想段階評価を進めており、早

期に都市計画・環境アセスメントの手続きへと進められるよう、鋭意、取り組んでいるところです。

つきましては、以上の事情をご賢察賜り、次の項目についてご支援いただきますよう、特段のご配慮をお願い致します。

記

1. 高速道路ネットワークの機能向上、及び平時・災害時を問わない安定的な輸送の確保と生産性向上のため、重要物流道路に位置付けられた高規格道路名古屋三河道路の早期実現を図ること。
2. 特に、西知多道路から国道23号名豊道路までの当面の優先整備区間については、地域の喫緊の課題である境川・衣浦港周辺等における交通課題へ対応するため、愛知県が推進する路線検討に支援を行うこと。
3. 本道路を含めた災害に強い道路ネットワークを構築するため、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の最終年度となる令和7年度においても必要な予算・財源を確保すること。また、令和6年能登半島地震などを踏まえ、既設道路構造物の機能強化などを推進するため、国土強靱化実施中期計画を令和6年内の早期に策定し、当初予算を含め、速やかに必要な予算財源を通常予算とは別枠で確保すること。
4. 山積する道路整備の課題に対応していくため、新たな財源の創設等により、令和7年度道路関係予算は、賃金水準などの上昇も加味した上で、所要額を満額確保すること。

令和6年7月

愛 知 県 知 事	大 村 秀 章
名 古 屋 商 工 会 議 所 会 頭	嶋 尾 正
一 般 社 団 法 人 中 部 経 済 連 合 会 会 長	水 野 明 久